

かけはし

氷見

KAKEHASHI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌

KANAZAWA MEDICAL UNIVERSITY
HIMI MUNICIPAL HOSPITAL

TOPICS ●トピックス

平成28年度 新規採用者入職式

朝日町舟川べり 桜とチューリップ

CONTENTS ●もくじ

TOPICS	平成28年度 新規採用者入職式・新入職者紹介	P.01
	新人オリエンテーション	P.02
特集	北陸がんプロ 金沢医科大学氷見市民病院 市民公開講座	P.03
	笠巻先生の診察室から	P.04
	診療コラム	P.05
	平成28年度 健康づくり教室	P.06
	病院★ニュース	P.07
	病院からのお知らせ掲示板	P.08
	まちかど情報	P.09

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院

平成28年度

新規採用者入職式

平成28年4月1日(金)午後2時から病院6階多目的ホールにおいて、金沢医科大学氷見市民病院に新たに採用された職員の入職式が行われ、高島茂樹最高経営責任者ならびに齋藤人志病院長をはじめ多数の病院幹部職員が列席しました。

今年度の新入職者は医師2名、看護師20名、臨床工学技士1名、理学療法士2名、作業療法士7名、診療情報管理士1名、事務員1名、看護補助員1名、介護職員2名の合計37名でした。

式では、入職者を代表し、看護師の兼氏奈々さんに高島最高経営責任者から採用辞令が交付され、「新人のうちに先輩からたくさんのことを学び、自分でも努力をして、社会人として早く立ち立ちし、職員一同力を合わせて、患者さんを大切にしたい病院をつくりあげていきましょう。」と式辞が述べられました。続いて齋藤病院長から「いろいろな技術知識を身に付けて、自分の仕事が楽しいと感じることが大切であり、患

者さんへいい医療を提供できる職員になってほしい。」と訓示がありました。

引き続き、新入職員を代表して初期臨床研修医佐伯吉彦さんが「金沢医科大学氷見市民病院の一員として、自己研鑽に努め職務に精励することを誓います。」と力強く宣誓を行いました。



新入職者 紹介

新しく8名の医師着任



胸部心臓血管外科

講師

小畑 貴司



内分泌・代謝科

准教授

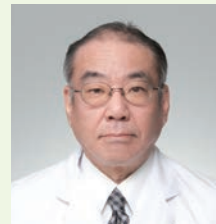
小西 一典



総合診療科

教授

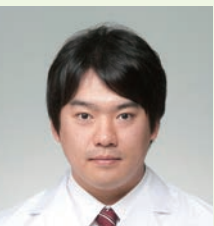
笠巻 祐二



神経内科

教授

富岳 亮



初期臨床研修

臨床研修医

佐伯 吉彦



総合診療科

医員

古村 芳樹



整形外科

医員

藤井 正文



腎臓内科

医員

久保 幸美

新人オリエンテーション

平成28年度

新人オリエンテーション

4月1日(金)

- ① 金沢医科大学氷見市民病院内の概要
- ② 金沢医科大学の概要及び病院職員としての心構えについて

4月4日(月)

- ① 医療安全の基礎知識について
- ② 感染防止の基礎知識について
- ③ 各部門紹介
- ④ 職業人としての健康管理について
- ⑤ 防火・防災について(氷見市消防本部)

4月5日(火)

- ① 各部門紹介

4月6日(水)

- ① 接遇研修
- ② BLS研修

第1日目

齋藤人志病院長から、「金沢医科大学氷見市民病院の概要」として、当院の沿革、理念についての説明や、診療などに対する基本姿勢、病院の規模等について講演がありました。



続いて、上端雅則事務部長から「金沢医科大学の概要及び病院職員としての心構え」について説明されました。

第2日目

- ① 医療安全の基礎知識について

前医療安全管理室加納千春課長から、診療業務の危機管理の根幹となる医療安全管理体制について「医療安全管理指針・マニュアル」に沿って説明が行われました。

- ② 感染防止の基礎知識について

感染対策室 谷畑課長から、院内感染予防、防止の基本となる「院内感染対策マニュアル」に沿って説明があり、防護具の脱着や手洗いについて実技指導が行われました。

- ③ 各部門紹介(第1回目)

新入職員に当院に設置されている各部署の紹介、業務分掌について所屬長から説明が行われ、組織の機能について理解を深めました。



教育研修・職員支援室	部署・業務紹介
総務課	病院設備と防災・防犯設備等
医事課	診療システム、受診システム、ソーシャルワーカー業務等
健康管理センター	職業人としての健康管理(井口センター長(事務取扱))
地域医療連携部	地域医療連携部部署紹介
医療情報部	個人情報保護
氷見市消防本部	職場における防火と防災について
人事課	職員就業規則の説明

第3日目

- ① 各部門紹介(第2回目)

前日に引き続き、各部署の紹介、業務分掌について説明が行われました。

紹介部署 看護部、薬剤部、中央放射線部、

ME部、中央臨床検査部、

リハビリテーション部、栄養部

第4日目

- ① 新入職員接遇研修

本院では、毎年、患者さんとコミュニケーションを図るうえで基本となる接遇研修を行っています。

今年は、昨年に引き続き院外から講師を招き、感謝の気持ちの表し方や他の人への理解度、接し方の多様性などを学びました。特に、家族や友人からかけられた感謝の言葉や感動を表現するロールプレイングでは、感動して涙する場面も見られました。

- ② りんごステーション紹介

りんごステーション代表酒井一匡君(手術部)から、若手看護師が中心となって組織しているサークルの「りんごステーション」について紹介がありました。

りんごステーションでは、院内コンサートなどの病院各種行事へのボランティア活動支援を行っています。その中で、同世代の看護師が病棟を超えたつながりを促進し、仕事の悩みを相談できるなど、連帯意識を高めることで、次に入職する看護師に本院の良さや特徴を紹介するなど看護師の定着、求人活動等幅広く病院に貢献しています。

- ③ BLS研修

ACLS委員会の主催により、病院に勤務する者が知っておくべき、心臓発作等の場面に遭遇した場合に取る救急車への連絡、AED操作、人工呼吸法など救急措置について研修しました。

北陸がんプロ 金沢医科大学氷見市民病院

市民公開講座

平成28年3月12日(土) 氷見市民病院
6階多目的ホールにおいて、市民や医療関係者の方々を対象に今回で3回目となる「北陸がんプロ金沢医科大学氷見市民病院市民公開講座」が開催されました。

開催にあたり高島茂樹最高経営責任者(CEO)から、日本で癌が認知され始めたことを含め、その歴史と近年の「癌の罹患率、死亡率の著しい増加から癌の対策が国の喫緊の課題になっており、この市民講座も国のがん対策の一環として開催されている」との説明がありました。また、がん対策の目標とするところは「がんの治療成績の向上」、「がん患者個々の生活の質(QOL)の向上及び、仕事が続けられる社会環境の整備に伴った社会的生活の質の向上」、「がんになった時の患者だけでなく家族に対する心のケア」の3点にあることが強調されました。

第1部 基調講演

今回の北陸がんプロのメインテーマは「がん向き合うために」と題して、第1部基調講演では坂本滋副院長を座長に、横浜相原病院院長の吉田勝明先生より「がん患者及び家族の心のケア」と題して講演が行われました。先生の精神科医としてのこれまでの豊富な経験から、がんになった時の心の持ち方の大切さについて講演され、がんと言われた時の心の変化をいかにして否認から受容へ、即ち癌であることを受け入れ、治療に向けて積極的に取り組む姿勢が重要であること、がんになった



吉田勝明先生

第2部 特別講演

ら自分の悩みをさらけだせるパートナーを持つことや自分の弱みを素直に相談できる専門家がいることの大切さを説明されました。また、がん患者の家族や周りの人に求められることは、「寄り添う心」であり「患者の話を傾聴できる心」が大切であると強調されました。



座長 坂本先生

引き続き第2部特別講演が行われ、金沢医科大学消化器内視鏡学伊藤教授を座長に「子宮頸がんは撲滅できる」と題して、金沢医科大学産科婦人科学笹川教授が講演されました。子宮頸がんの罹患率は若い働き盛りの年代がピークであり、年間約1万人が罹患し約3500人が死亡しているとの説明があり、子宮頸がんにならないためには「まず二十歳を過ぎたら検診とワクチン接種を受けることが重要であり、同時に予防のためにはたばこを吸わな



笹川寿之先生

いこと」を強調されました。また、気軽に婦人科へ受診する啓発活動や中高生への健康教育を実施することも今後大切であると指摘されました。



座長 伊藤先生

最後に齋藤人志病院院長が閉会挨拶をされ終了しました。当日は土曜日の午後にもかかわらず予想を上回る多数の市民と医療関係者の参加を頂き、参加者はがん向き合う心構えやがん予防の大切さについて理解が深まった様子でした。



笠巻先生の 診察室から

総合診療科
臨床教授

笠巻

YUJI
KASAMAKI

祐二



●ご挨拶

このたび、平成28年4月より金沢医科大学氷見市民病院総合診療科に赴任致しました笠巻祐二と申します。私はこれまで循環器診療と総合診療に長く携わらせて頂いておりました。氷見市民病院では、総合診療科の神田享勉教授のご指導の下、これまでの経験と知識を生かして患者さまの健康維持、疾病予防に微力ながら貢献できるよう、若手の先生とともに頑張っております。若手の先生とともに頑張り続けていきたいと思っております。是非とも宜しくお願い申し上げます。

●これまでの診療活動のご紹介

循環器内科の分野においては、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、近年話題となっている心房細動をはじめとした様々な不整脈、心不全や心臓弁膜症などあらゆる循環器疾患の診療を行ってきました。とくに専門である不整脈、心不全、心臓弁膜症の診療に関しては、最新の技術を用いて患者さまに苦痛のない方法で正確かつ安全な診断と治療を心掛けています。具体的には特殊な心電図手法を用いて心臓突然死や不整脈の発生に関わる研究をライフワークの1つとして取り組んでまいりました。

一方、近年は総合診療にも積極的に取り組んでおり、研修医、若手の先生とともに正確な診断と治療を行うことに誠意をもって対応させて頂いております。もし自分がどの科に行くべきなのかよく分

からない場合は、迷うことなく総合診療科を受診してください。

●これから進むべき医療のありかた

ご存知のように医療技術の進歩は目覚ましく、多くの分野で治療の飛躍的な革新が進んでいます。2012年には山中伸弥先生がiPS細胞作製に成功しノーベル賞を受賞して以来、再生医療の実現に向けて世界中で最先端の研究が活発に行なわれています。近い将来、人間のあらゆる臓器、血管などが部品交換のように新しい健康な臓器に置き換わり、寿命が大幅に伸びる可能性もあります。こうした医療技術の革命的進歩は人類にとって望ましいことである反面、医療経費が声高に叫ばれる昨今、将来的な医療費の増大を抑制しなければならぬというジレンマもあることも確かです。また、人間の寿命や遺伝子を操作することの倫理的問題も解決すべき重要な問題です。私の考える将来の方向性は、発症してしまっただけを治すという従来の医療の中心的役割を果たすとともに、今後はなるべく病気になるようにする、いわゆる予防医学の充実を図ることであると考えております。氷見市民病院では平成25年から市民の皆様に対して健康づくり教室を開講していますが、これも多くの方が健康で元気に長生きして頂くことを目的にしたものです。今後も毎年開催されると思いますので、皆様ぜひ積極的に参加して頂きたいと思っております。

●健康長生き(自然長寿)の秘訣

～日中共同研究の結果から～

私達は中国新疆医科大学との共同で2000年から10年以上にわたり中国新疆ウイグル自治区において自然長寿の疫学調査を行ってきました。その特徴の主なものは以下のようなものでした。

- 1) 百寿者は男性に多い
 - 2) 家族が多世代である
 - 3) 結婚回数が多い(女性は初婚年齢が低い)
 - 4) 野菜と果物の摂取が多い
 - 5) 動物性蛋白質の摂取が少ない
 - 6) 飲酒・喫煙が極端に少ない
 - 7) 性への興味を保持している傾向が見られる
 - 8) 健康であるという意識が強い
 - 9) 生活に対する満足度が高い
 - 10) 快活度が高く、ストレスが少ない
- さらにこれまでの内外の百寿者の研究から下記のようなものが特徴として集約されます。
- 1) 極端な肥満ではない
 - 2) 前向きな考えを持っている
 - 3) 身体全体が均質に年を取っている
 - 4) キーワードは食事、運動、精神
- 氷見市の高齢化率は35%に達し、実に氷見市民の3人に1人が高齢者という状況です。氷見の皆さん、私たちとともに「元気に健康長生き」を目指しましょう。もしかすると百寿者の特徴が何かしらヒントになるかも知れません。

笠巻祐二★略歴

【略歴】

- ◎昭和60年3月 日本大学医学部卒業
- ◎平成元年3月 日本大学大学院医学研究科修了 医学博士取得
- ◎平成10年12月 日本大学医学部付属板橋病院 循環機能検査室長
- ◎平成18年8月 日本大学医学部循環器内科学分野講師
- ◎平成24年3月 日本大学医学部総合内科・総合診療医学分野准教授 日本大学医学部付属板橋病院 総合内科病棟医長
- ◎平成26年10月 日本大学医学部付属板橋病院 総合内科科長、外来医長、救急担当医長
- ◎平成28年4月 金沢医科大学氷見市民病院総合診療科臨床教授

【所属学会・専門医等】

- ◎日本内科学会(総合内科専門医)
- ◎日本循環器学会(循環器専門医)
- ◎日本心臓病学会(特別正会員(FJCC))
- ◎日本心不全学会
- ◎日本心電不整脈学会(評議員、不整脈専門医)
- ◎日本臨牀生理学(評議員)
- ◎日本超音波医学会(超音波専門医、超音波指導医)
- ◎日本高血圧学会
- ◎日本心エコー学会
- ◎日本自律神経学会(評議員)
- ◎日本東洋医学会
- ◎日本抗加齢医学会(抗加齢医学専門医)
- ◎米国内科学会・日本支部
- ◎日本性差医療学会
- ◎日本疫学会 ◎日本感染症学会

診療コラム

病棟紹介

手術部

手術室はバイオクリーンルーム1室を含む5室で一般消化器外科・胸部心臓血管外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・眼科・皮膚科・歯科口腔外科・形成外科の手術を行っております。高度な医療を確実に、そして安全に提供するために、



2014年からWHO(世界保健機関)の「手術安全チェックリスト」を導入し、看護師だけでなく医師、

麻酔科医師、臨床工学技士など多職種が情報を共有し、今まで以上に安全に配慮した手術部を目指しています。また、24時間365日緊急手術にも速やかに対応しています。

患者さんにとって手術室は未知の部門だと思しますので、不安が大きくならないように術前訪問に伺い、入室方法の説明や不安の有無の確認を行い、手術当日には少しでも安心していただけるように環境調整・手術の準備を行っています。また術後訪問を行い、手術に対する要望や不満などを聞き今後の看護に生かすよう、日頃から患者さんとしてしっかり向き合う意識を持って手術期看護に取り組んでいます。

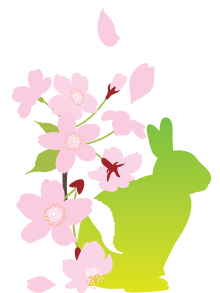
血液浄化センター

血液浄化センターは、腎不全(身体に尿毒素が貯留)患者さんが透析に通うところです。人工腎臓を用いて血液を体外で循環し老廃物を体外に排出しています。患者さんは、約4時間・週2〜3回の透析を休まずしないといけません。そのため、血



液浄化センターでは、癒しの治療空間、安心・安全な透析を目指し、腎臓内科医を中心に、看護師・臨床工学士などが協働し、患者さんのサポートをしています。また、月1回開業医の医師や栄養士、リハビリスタッフなどを交えて、事例検討や情報交換を行っています。

H27年度は、第3回腎不全患者・家族研修会の開催や、患者・家族の面接を実施し、高齢化する患者さんの家族支援を推進しました。また、H28年1月から、慢性腎不全看護外来を開始しました。透析認定看護師が腎不全の悪化防止の指導や、治療の選択(血液透析・腹膜透析)などの説明をしています。これからも透析患者さんの健康維持と癒しの空間となるよう努めていきます。



金沢医科大学氷見市民病院

平成28年度

健康

づ

く

り

教室



「健康づくり教室」を
開催します

市民の皆さんを対象に、「さまざまな病気」について、予防法や診断・治療法など、専門医師が解りやすく解説し、「予防医学・健康回復・増進」に役立てていただくことを目的に「健康づくり教室」を開催します。

医療に関する知識や病気について知る機会として、お気軽にご参加ください。

受講料
無料



開催要領

期 間
平成28年5月～11月
(毎月1回原則第3土曜日)

時 間
14時～15時
(受付開始13時30分から)

場 所
金沢医科大学氷見市民病院
6階多目的ホール

受講生募集
随時、参加できます

平成28年度 開催日

開催時間は
14時～15時の予定です。
(受付開始13時30分から)

平成28年5月21日(土)
— 開講式 —
● がん予防と検診の大切さ
～がんは決して他人事ではありません～
病院長・一般消化器外科教授 齋藤人志

6月18日(土)
● 大動脈瘤
～カテーテルを用いた治療～
胸部心臓血管外科講師 小畑貴司

7月16日(土)
● 頭痛
～こわい頭痛とこつでない頭痛～
神経内科教授 富岳 亮

9月17日(土)
● 肺炎と気管支炎
～誤嚥性肺炎と嚥下機能の低下～
院長補佐・呼吸器内科准教授 井口晶晴

10月15日(土)
● 認知症とフレイル
～健康寿命を延ばす方法は？～
高齢医学科診療科長 石神慶一郎

11月19日(土)
● 加齢と眼の病気
～知っているようで知らない白内障のこと～
— 開講式 —
眼科講師 河上 裕

○ 申込書送付先・
お問い合わせ先

金沢医科大学氷見市民病院
総務課
〒935-8531
氷見市鞍川11130番地
TEL : 0766-74-1900
(内線:2023)
FAX : 0766-74-1901

回復期リハビリテーション病棟イベント 節分の日「豆まき」

回復期リハビリテーション病棟では、節分の日に合わせて2月3日(水)に悪疫退散、無病息災を願って「豆まき」を行いました。

リハビリテーション部の病棟担当スタッフが赤鬼と青鬼に扮し、「悪い奴はおらんから、リハビリをさぼっているのは誰だ〜」と病室を廻りました。患者さんたちは訓練で作成したお手玉を力いっぱい投げて鬼退治をしていました。

参加した患者さんからは普段とは違う笑顔が見られ、マンネリになりがちな入院生活の中で病院スタッフと一緒に楽しい時間を過ごすことができ、楽しそうでした。

当病棟では、今後もこのような季節に合わせたイベントをとおして、患者さんが楽しくリハビリ生活を送れるように企画、運営する予定です。



Hospital sound

〜病院の小さな音楽会〜

「バレンタインコンサート」開催

2月13日(土)に外来待合室において「Hospital Sound 〜病院の小さな音楽会〜」と題したバレンタインコンサートが開催されました。外来や入院患者さん、通所リハビリの利用者さんや病院スタッフなど約80名が参加しました。呼吸器内科井口晶晴准教授、看護部看護師八箇多恵さんと特別ゲストで下将司さんがオーボエとクラリネット、ピアノで「花みずき」「ふるさと」など6曲を披露し、やさしい音色で皆さんの心を癒してくれました。曲に合わせて、患者さんも一緒に楽しそうに歌っていました。参加された入院患者さんから「いつもの先生とは違う一面で、より親近感がわきました。すごく元氣になりました。」などの感想が聞かれました。

今回は、当院の医師と看護師の演奏会でしたが、今後はその他の職種からも演奏者として参加してもらい、このようなコンサートを定期的に開催できればと思っています。病院スタッフの普段とは違う一面を見てもらい、親近感を感じていただくことで患者さんと職員との距離がより一層近くなり地域に密着した病院になればと思います。



職員接遇研修会

3月3日(木)多目的ホールにおいて、平成27年度職員接遇研修会が開催されました。講師に紅茶の時間 主宰 水野スウさんをお招きし、「褒め言葉のシャワー〜気持ちいい言葉をさがしている〜」と題し講演をして頂きました。講演では、なにげなく言った言葉が自分の思っていた言葉と違っていたり、相手を思う心が違う言葉で表現してしまったりすることがある。その時に自分自身が傷つき、つらい思いをしてしまうことがあるなど語りかけるようにやさしい言葉でお話をされました。また病院など医療の現場では、患者さんやそのご家族の方々に思いやりの心や気持ちのこもった言葉遣いなどを意識しながら接することが多い中で、「あなたの言葉で元気になる人がいること。そして自分の気持ちを言葉にのせること」など気持ちと言葉の大切さもお話されました。



最後に憲法13条を詩に替え歌にした「他の誰とも」を歌って頂きました。仕事や家のことなど、多忙な日々の中で少し疲れた心に、水野さんの優しく心に響く歌声はとても感動しました。詩の中で「あなたの笑顔が誰かを元気にしている。そしてあなたが誠実に生きていること、そしてあなたをちゃんと見てくれてる人がいること」この言葉がとても心に残りました。参加された一人ひとりが、この研修で感じたことを仕事や生活の中で表せたら素敵なことだと思います。

病院医療サービス向上委員会では、今後もこのような接遇に関する研修を行い患者さんへの医療サービスの向上に努めたいと思います。

平成27年度 臓器移植研修会

平成28年3月10日(木)に当院6階多目的ホールにて当院職員を対象とした臓器移植研修会が開催されました。開会には森山学臓器移植委員会委員長から挨拶の後、臓器提供シミュレーション研修と講演が行われました。

臓器提供シミュレーション研修は当院の医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師等6名の参加で、家族への病状説明からオプシジョン提示までの臓器提供について寸劇を行い、主治医や看護師の役割についての説明が行われました。

続いて、「金沢医科大学病院における臓器提供の取組み」と題して金沢医科大学病院看護部部長で、院内コーディネーターの谷内裕美子講師がこれまでの金沢医科大学病院の臓器提供事例を紹介しながら、金沢医科大学病院の臓器提供の取り組みに関する講演が行われました。

当日は40名の参加者があり、参加者からは寸劇を取り入れたことで、臓器提供の流れが分かり易かったとの感想がありました。



病院からのお知らせ掲示板

● 平成28年度高齢者の肺炎球菌感染症予防接種のお知らせ

対象者

次の①②のいずれかに該当する方
(ただし、すでにこの予防接種を受けたことがある方は対象外となります。)

- ① 65歳(S26.4.2)～S27.4.1生の方
70歳(S21.4.2)～S22.4.1生の方
75歳(S16.4.2)～S17.4.1生の方
80歳(S11.4.2)～S12.4.1生の方
85歳(S6.4.2)～S7.4.1生の方
90歳(T15.4.2)～S2.4.1生の方
95歳(T10.4.2)～T11.4.1生の方
100歳(T5.4.2)～T6.4.1生の方
- ② 60歳以上65歳未満で心臓、じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方(身体障害者手帳1級相当)。

接種期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

個人負担金

3,000円

(健康保険証を持参してください。)

問合せ先

医事課(内線1021)または
氷見市健康課 076617418062



● 入院時食事療養費の改定について

平成28年4月1日より、国の施策として入院時食事療養費の負担額が変わり、一般所得の方は1食260円から360円となります。なお、増額分は調理費(光熱水費)になるため食事内容は今までと同じです。

また、今回の診療報酬改訂により診療費の一部が変更しますのでご理解のほどよろしくお願いたします。不明な点がありましたら医事課までお問い合わせください。
医事課(内線1021)

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平に受けることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関に受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話してください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

氷見「今が旬！」

氷見ふりと並ぶ隠れた特産品！

ながらも

正式名は「アカモク」というホンダワラ科の海藻の一種です。氷見には大きな藻場があり、春から初夏にかけて流れてしまうことから「ながらも」となったようです。

ながらもは、ワカメの1.2倍のカルシウム、5.2倍の鉄分を含み、食物繊維もたっぷり！免疫力アップや抗肥満作用がある成分を豊富に含み、磯の香りが強く、歯ごたえがあるのが特徴です。



★ヌメリ成分フコイダンはもずくの2倍！

免疫力(自然治癒力)を強化する効果があるとして注目されているフコイダン。お腹の中をキレイにしたり、胃腸の粘膜に吸着し、守る働きがあります。

★色素成分フコキサンチンは海藻の中で最も多い！オメガ3脂肪酸も含む！

フコキサンチンは内臓に溜まった過剰な脂肪を燃焼させる作用を示し、強い抗酸化力があります。

オメガ3脂肪酸は細胞が正しく機能されるためには不可欠なもので、心臓病予防や抗コレステロール血症の機能が認められています。魚油にも含まれますが、ながらもに含まれるものは、酸化されず、においも少ないそうです。

調理

若く軟らかいものを刻んで湯通し(茶色からキレイな緑色に変わります)して、醤油をかけたたり、包丁で荒くみじん切りしてポン酢や三杯酢等でもさっぱりと食べられます。味噌汁の具、かき揚げ、佃煮などにもよいですし、細かく刻めば粘りが一段と出るので、とろろのようにごはんや麺類にかけても美味しいです。ながらもは、めかぶやもずくと同様の食べ方ですが、めかぶより繊細な食感、もずくよりも磯の香りが強く、コリコリした歯ごたえがあります！



表紙について

富山県朝日町の舟川べりに桜とチューリップそして朝日・白馬連峰の雪山が三重奏となり見ることができます。富山県内では桜とチューリップが同時に開花することは少ないですが、この舟川べりは保存会の方々の努力でこのような美しい景観を見ることができる名所です。今年は菜の花も同時に咲き四重奏となり咲き誇っていました。



編集後記

今年もまた梅雨の季節がやってきました。新入職員の皆さんは新しい職場環境にも慣れ、緊張感が少しずつ和らいできた頃ではないでしょうか？しかし、緊張感が和らぐこの時期が一番失敗の起きやすい時期でもあり注意していただきたいと思います。慣れない仕事に追われ休むことを忘れていませんか？ちょっと一息入れることも大切なことだと思います。

金沢医科大学氷見市民病院 事務部長 上端 雅則

■広報誌「かけし氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ「かけし」となることを願って命名されました。